



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月4日

上場会社名 焼津水産化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2812 URL http://www.yskf.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 潤
 問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部 経理部長 (氏名) 大勝 利昭 (TEL) 054-202-6044
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	3,789	△3.7	217	△2.2	244	13.8	165	13.7
29年3月期第1四半期	3,934	△19.2	222	26.1	214	3.1	145	6.7

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 377百万円(109.9%) 29年3月期第1四半期 179百万円(△23.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	13.38	—
29年3月期第1四半期	11.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	22,901	19,375	84.6
29年3月期	22,140	19,171	86.6

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 19,375百万円 29年3月期 19,171百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	14.00	24.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	10.00	—	14.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,700	△1.0	400	△8.7	400	△8.6	290	△2.0	23.39
通期	15,400	1.0	1,000	13.6	1,000	14.1	700	18.3	56.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	13,056,198株	29年3月期	13,056,198株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年3月期1Q	656,488株	29年3月期	656,457株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	12,399,718株	29年3月期1Q	12,399,836株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)のわが国経済を取り巻く環境は、政府の経済政策を背景に、雇用・所得環境の改善等による個人消費の持ち直しや企業収益の改善等により緩やかな景気回復基調が続いているものの、中国をはじめとするアジア新興国等の景気の下振れ懸念や欧米の政策に関する不確実性の高まりなど、先行きは依然として不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、消費者マインドの持ち直しによる外食の緩やかな増加はあるものの、食の安全・安心に対する意識の高まりもあり、依然として厳しい収益環境が続いております。

このような中、当社グループでは、新中期経営計画「YSK Priority」の2年目にあたり、これまで取り組んできた事業構造改革による“強み分野へ集中”できる体制を土台として、“水産系天然素材メーカーNo. 1”を目指した取り組みを進めております。

具体的には、i. 収益基盤の確立、ii. 新規事業領域の拡大、iii. 人・組織機能の強化、の3つの重点施策を更に力強く推進していきます。当社グループの強みである水産系の天然素材を原料とした調味料、機能性食品素材を軸として、国内では食の外部化の進展に対応した中食、外食向けの開発・販売体制を構築すると共に、海外ではASEAN地域を中心として販路の拡大に向けた取り組みを行っております。製造面においては、静岡県内に分散している工場の生産体制の見直しや、主力の掛川工場をより一層“食の安全・安心”を提供できる主要拠点へと進化させるべく、FSSC22000の認証取得に向けた取り組みを進めております。また、人・組織機能の強化においては、生産性の向上を目指し、ワークライフバランスの推進と教育・研修体制の充実を積極的に図ってまいります。

連結売上高につきましては、積極的な新規開拓を進めたものの、前期から引き続き低採算品の統廃合を進めている影響もあり、37億89百万円(前年同期比1億44百万円、3.7%減)の減収となりました。利益面につきましては、製造経費や販売費及び一般管理費の削減に取り組まましたが、連結営業利益は2億17百万円(同4百万円、2.2%減)となりました。連結経常利益は、営業外費用において為替差損が減少したこと等により2億44百万円(同29百万円、13.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億65百万円(同20百万円、13.7%増)となりました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

(調味料)

調味料は、主に加工食品メーカー向けの液体調味料や粉体調味料の製造販売及び各種わさび類他香辛料の製造販売です。売上高は、CVD技術を駆使した調味料加工品が前期に伸長した反動減等もあり18億72百万円(前年同期比74百万円、3.8%減)となり、セグメント利益(営業利益)は売上高の減少に伴い2億16百万円(同5百万円、2.7%減)となりました。

(機能食品)

機能食品は、機能性食品素材及び機能食品の製造販売です。売上高は、機能性素材のアンセリンは堅調な販売が続いているものの、主力のN-アセチルグルコサミン、コラーゲン等が寡占化及び価格競争の激化により末端メーカーの苦戦が続いており8億12百万円(同11百万円、1.4%減)となりましたが、セグメント利益(営業利益)は低採算品の統廃合等の取り組みにより収益性が改善し、1億58百万円(同3百万円、2.2%増)となりました。

(水産物)

水産物は、主に冷凍鮪・冷凍鯉の原料販売並びに加工製品の製造販売です。韓国向け海外販売の減少に加えて、原料高に伴う製品価格値上げの影響から販売数量が減少し、売上高は7億90百万円(同34百万円、4.2%減)となりました。セグメント利益(営業利益)は、販売費及び一般管理費の削減に取り組んだものの売上高の減少に伴い1百万円(同6百万円、79.7%減)となりました。

(その他)

その他は、化粧品通信販売及びその他商品の販売ですが、前期末に化粧品通信販売を子会社のUMIウェルネス㈱に集約しましたが販売品目の整理により、売上高は3億14百万円(同23百万円、6.8%減)、セグメント利益(営業利益)は化粧品通信販売に係る広告宣伝費の減少等により22百万円(同19百万円、844.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産の総額は、前連結会計年度末に比べ7億60百万円増加し、229億1百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が4億75百万円、受取手形及び売掛金が2億27百万円増加した一方、商品及び製品が1億4百万円減少したこと等により5億64百万円増加し、138億45百万円となりました。

固定資産は、保有株式の株価上昇により投資有価証券が3億4百万円増加した一方、期中の減価償却が設備投資を上回り有形固定資産が1億35百万円減少したこと等により、1億96百万円増加し、90億56百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が1億87百万円、短期借入金が1億50百万円増加したこと等により4億66百万円増加し、30億64百万円となりました。

固定負債は、繰延税金負債が92百万円増加したこと等により90百万円増加し、4億62百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益が1億65百万円となった一方、配当金の支払い1億73百万円により利益剰余金が7百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が2億11百万円増加したこと等により2億3百万円増加し、193億75百万円となりました。

この結果、自己資本比率は84.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月11日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想の数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,066,988	7,542,575
受取手形及び売掛金	3,305,094	3,532,118
商品及び製品	919,161	814,234
仕掛品	75,652	117,317
原材料及び貯蔵品	1,740,930	1,711,753
繰延税金資産	61,624	61,960
その他	114,539	68,862
貸倒引当金	△3,400	△3,400
流動資産合計	13,280,591	13,845,422
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,370,081	2,322,829
機械装置及び運搬具(純額)	1,420,662	1,335,890
土地	2,813,263	2,813,263
リース資産(純額)	18,441	16,248
その他(純額)	45,931	44,568
有形固定資産合計	6,668,382	6,532,800
無形固定資産	18,905	17,356
投資その他の資産		
投資有価証券	1,815,836	2,120,319
退職給付に係る資産	189,315	190,830
繰延税金資産	18,687	18,569
その他	153,282	180,473
貸倒引当金	△4,421	△4,321
投資その他の資産合計	2,172,700	2,505,871
固定資産合計	8,859,987	9,056,028
資産合計	22,140,578	22,901,451

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,164,775	1,352,342
短期借入金	740,000	890,000
リース債務	7,751	7,226
未払法人税等	117,827	93,145
未払消費税等	26,406	76,257
賞与引当金	119,106	195,122
役員賞与引当金	—	6,951
その他	421,507	443,269
流動負債合計	2,597,374	3,064,314
固定負債		
リース債務	11,995	10,188
繰延税金負債	334,066	426,535
退職給付に係る負債	22,671	22,549
長期未払金	2,850	2,850
固定負債合計	371,582	462,123
負債合計	2,968,957	3,526,438
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,617,642	3,617,642
資本剰余金	3,414,133	3,414,133
利益剰余金	12,120,085	12,112,381
自己株式	△623,306	△623,344
株主資本合計	18,528,555	18,520,813
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	643,066	854,199
その他の包括利益累計額合計	643,066	854,199
純資産合計	19,171,621	19,375,012
負債純資産合計	22,140,578	22,901,451

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	3,934,556	3,789,990
売上原価	2,971,486	2,858,301
売上総利益	963,069	931,689
販売費及び一般管理費	740,184	713,755
営業利益	222,885	217,933
営業外収益		
受取利息	137	98
受取配当金	12,967	14,786
受取賃貸料	29,492	28,552
貸倒引当金戻入額	986	100
その他	11,590	11,538
営業外収益合計	55,174	55,075
営業外費用		
支払利息	789	1,383
為替差損	17,734	255
たな卸資産廃棄損	1,265	—
租税公課	4,513	3,060
減価償却費	23,262	19,890
その他	15,569	3,927
営業外費用合計	63,136	28,516
経常利益	214,923	244,492
特別利益		
固定資産売却益	620	2,593
新株予約権戻入益	680	—
受取補償金	—	8,109
特別利益合計	1,300	10,702
特別損失		
固定資産除却損	24	0
災害損失	—	6,993
会員権売却損	—	20
特別損失合計	24	7,013
税金等調整前四半期純利益	216,199	248,181
法人税等	70,344	82,288
四半期純利益	145,855	165,892
親会社株主に帰属する四半期純利益	145,855	165,892

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	145,855	165,892
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33,800	211,132
その他の包括利益合計	33,800	211,132
四半期包括利益	179,655	377,025
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	179,655	377,025
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

I. 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	1,947,566	824,747	825,083	3,597,397	337,158	3,934,556	—	3,934,556
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	2,123	2,123	—	2,123	(2,123)	—
計	1,947,566	824,747	827,207	3,599,520	337,158	3,936,679	(2,123)	3,934,556
セグメント利益	222,704	155,189	8,292	386,185	2,356	388,542	(165,656)	222,885

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他商品等であります。
 2. セグメント利益の調整額165,656千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	1,872,924	812,902	790,094	3,475,920	314,070	3,789,990	—	3,789,990
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	3,686	3,686	—	3,686	(3,686)	—
計	1,872,924	812,902	793,780	3,479,607	314,070	3,793,677	(3,686)	3,789,990
セグメント利益	216,778	158,582	1,687	377,048	22,261	399,309	(181,375)	217,933

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他商品等であります。
 2. セグメント利益の調整額181,375千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。